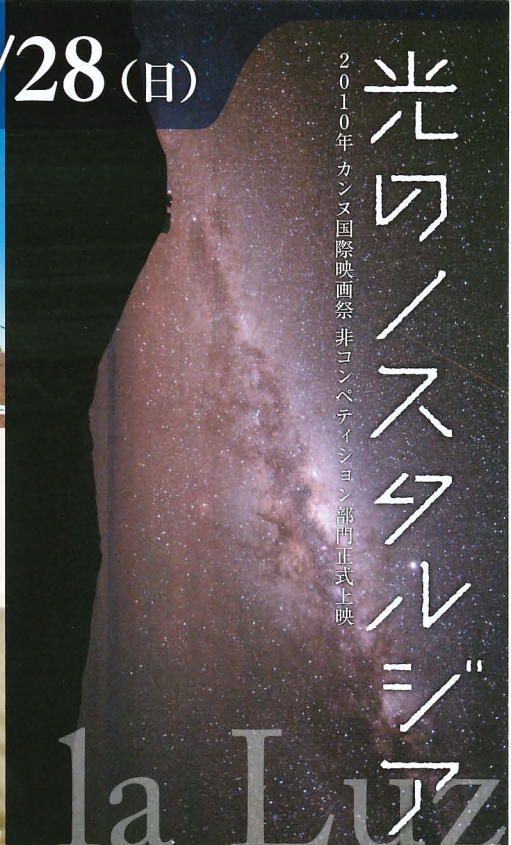


trancinema 第4回上映会

前説・交流イベント付き

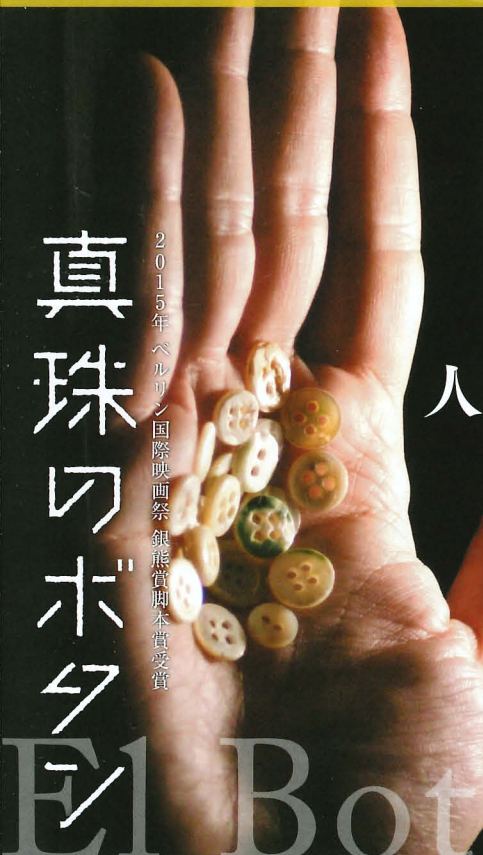
2016年 8/28 (日)

2010年カンヌ国際映画祭非コンペティション部門正式上映  
光のノスタルジア



Nostalgia e la Luz

記憶はあたたかも、重力のような力で私たちの心を捉え続ける。



真珠のボタン

2015年ベルリン国際映画祭銀熊賞脚本賞受賞

人間と大地、星々の光、そして水—

果てしない時の流れの果てに、人類の記憶を辿り、見えてくるもの。  
南米ドキュメンタリーの巨匠パトリシオ・グスマン監督が、  
混迷する文明社会に驚異の映像美で問う一大連作叙事詩、一挙公開!

El Botón de Nácar



トランシネマ  
trancinema  
館長よりご挨拶

良質な映画を観られて、なおかつ集まった人々が温かく交流  
できるような映画館を仙台に作ろう!と思い立ってtrancinemaを立ち  
上げたのが2015年3月。以来、「観た後に語り合いたいくなるような」  
映画をチョイスし、お客様が実際に交流できるような上映会の  
運営を開始しました。

その第4弾として今回お届けするのは『真珠のボタン』と『光の  
ノスタルジア』。トランシネマ上映会初の2本立興行です。お好きな  
1本を選ぶのもよし。2本観て作品に描かれた世界観を深めるのも  
よし。ご自分のスタイルに合わせて自由に楽しんでください。  
では劇場でお会いしましょう!



# 真珠のボタン

水には記憶があるという。ならば、私たちは  
失われた者の声を聞くことができるのだろうか。  
さまよえる魂たちも、安らげるのだろうか。

全長4300キロに及ぶチリの長い国土は太平洋に臨んでいる。その海の起源はビッグバンのはるか昔まで遡る。そして海は人類の歴史をも記憶している。チリ、西パタゴニアの海底でボタンが発見された。—そのボタンはピノチェト政権により政治犯として殺された人々や、祖国と自由を奪われたパタゴニアの先住民の声を我々に伝える。火山や山脈、氷河など、チリの超自然的ともいえる絶景の中で流されてきた多くの血、その歴史を、海の底のボタンがつまびらかにしていく。

## Introduction

およそ138億年前、ビッグバンとともにこの宇宙が誕生し、46億年前に地球が誕生、やがて水のなかから生命が生まれ進化を続けた。海から陸が生まれ、映画の舞台となる南米チリという国が生まれた。巨匠グスマン監督はその果てしない時の流れのなかで、大宇宙や自然をとらえた驚異の美しい映像とともに、人間が過去に繰り返してきた蛮行をとらえる。ピノチェト独裁政権下(1973~1990)での弾圧、さかのぼり行われた植民地化と先住民への虐待などである。

大宇宙のなかの地球、その光や水は、人間とともに、宇宙の営みや人間の業ともいえる歴史の事実を記憶している。この2作品を見る者は、心にこれまで経験のない意識が目覚めるのを感じるだろう。永遠の時空のなかで生成するひとつの生命体としての大いなる意識。人間は地球の支配者ではない。歴史の記憶とは。人間の、人間やほかの生命を蹂躪する性(サガ)とは……。『光のノスタルジア』と『真珠のボタン』、この2作品における「星の視座」は、今日の混迷する文明社会で顕在する、人間の暴力や支配への欲望に対して、私たちが忘れようとしている人類の叡智を思い起こさせる。

それは未来への希望にほかならない。

歴史、民族、地理、宇宙、水の不思議な関係性が  
グスマンの非凡な感覚でシンクロする。  
それは観る者の精神にも未知の扉を開き、  
あなたの物語へと繋がっていくだろう。  
—ハリウッド・リポーター誌

脚本・監督◆パトリシオ・グスマン/プロデューサー◆レナート・サッチス/撮影◆カテル・ジアン/編集◆エマニュエル・ジョリー/写真◆バス・エラスリス、マルティン・グシンデ/製作◆アタカマ・プロダクションズ(2015年/フランス、チリ、スペイン/16:9/82分)

原題◆El boton de nacar/配給◆アップリンク

©Atacama Productions, Valdivia Film, Mediapro, France 3 Cinema - 2015





# 光のノスタルジア

「宇宙の壮大さに比べたら、チリの人々が抱える問題はちっぽけに見えるだろう。でも、テーブルの上に並べれば銀河と同じくらい大きい」 P.グスマン

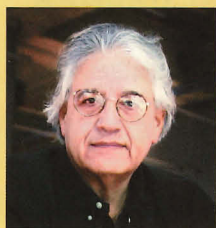
チリ・アタカマ砂漠。標高が高く空気も乾燥しているため天文観測拠点として世界中から天文学者たちが集まる一方、ピノチェト独裁政権下で政治犯として捕らわれた人々の遺体が埋まっている場所でもある。生命の起源を求めて天文学者たちが遠い銀河を探索するかたわらで、行方不明になった肉親の遺骨を捜して、砂漠を掘り返す女性たち……。永遠とも思われる天文学の時間と、独裁政権下で愛する者を失った遺族たちの止まってしまった時間。天の時間と地の時間が交差する。

この重厚で美しい映画を「ドキュメンタリー」と一括りにしてしまうのはあまりにも味気ない。これぞ「マスターピース」だ！  
—ウォルストリートジャーナル紙

## Director

パトリシオ・グスマン 監督

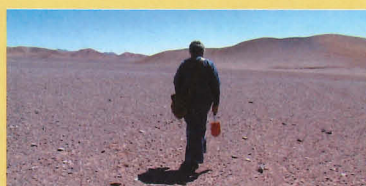
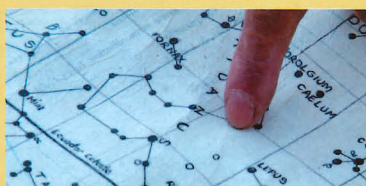
ラテンアメリカを代表するドキュメンタリー映画監督。1941年チリ、サンティアゴ生まれ。アジェンダ政権時代の政府とその崩壊を描いた三部作、全5時間のドキュメンタリー『チリの戦い』は、アメリカの雑誌「シネアスト」で「世界で最も優れた10本の政治映画のうちの本1本」と評された。ピノチェトによるクーデター後、グスマンは逮捕され、2週間監禁された。1973年にチリを出国し、その後はキューバ、スペイン、フランスと移り住み、多くの作品を発表し続けている。1997年に始まったサンティアゴ国際ドキュメンタリー映画祭 (FIDOCS) の創設者であり、同映画祭の代表を務めている。



オフィシャルウェブサイト <http://www.uplink.co.jp/nostalgiabutton/>

脚本・監督◆パトリシオ・グスマン／プロデューサー◆レナート・サッチス／撮影◆カテル・ジアン／編集◆エマニュエル・ジョリー◆天文写真：ステファン・ガイザード／製作◆アタカマ・プロダクションズ (2010年／フランス・ドイツ・チリ／16:9 / 90分)  
原題◆Nostalgia de la luz／配給◆アップリンク

©Atacama Productions (Francia) Blinker Filmproduktion y WDR (Alemania), Cronomedia (Chile) 2010



## 上映のご案内

### 第1部「真珠のボタン」

12:00 開場  
12:30 開演  
14:05 上映終了・トークショー  
(上映会場にて)

### 第2部「光のノスタルジア」

15:00 開場  
15:30 開演  
17:15 上映終了・交流イベント  
(メディアテーク7階会議室にて)

## 19:00 懇親会

### ●上映後イベント

第1部上映後上映会場にてトークショーを、第2部上映後上映会場と同じ階にある会議室にて交流イベントを行います  
(イベント内容は変更される場合があります。予めご了承ください)。

### ●懇親会

第2部終了後、会場を移して懇親会を行います(要事前予約)。

**前売券:大人1,000円/小中高生700円(当日券:大人1,300円/小中高生900円)**

※チケット1枚で第1部・第2部のいずれかをご鑑賞いただけます。  
※第1部・第2部の両方をご鑑賞いただく場合はチケットを2枚ご購入ください。

前売券の取り扱い(発券手数料等はかかりません)

●WEB販売:Peatix <http://ptix.co/1MQyKjq>

※ホームページ、facebookページからもアクセスできます(URLは下記「お問合せ」を参照)。

●店舗販売: Trattoria al Vertice(懇親会会場)

※販売時間は店舗にお電話にてお問合せ願います。

## 会場のご案内

上映会

### せんだいメディアテーク7階 スタジオシアター

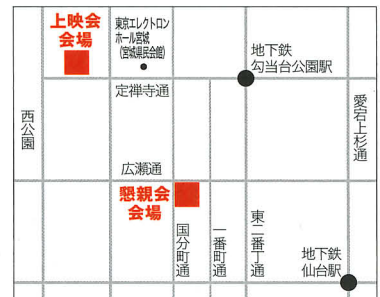
仙台市青葉区春日町2-1  
022-713-3171

懇親会

### Trattoria al Vertice

(トラットリア アル ヴェルティーチェ)  
仙台市青葉区国分町1-6-15奥田ビル3階  
022-797-8486

●参加費3,500円(上映料金とは別途頂戴いたします)



## スタッフ&ファンクラブ募集

トランシネマでは、スタッフとして上映会やシネマワークショップの運営に携わり、仙台に新たなミニシアターを作る夢をいっしょに追いかける仲間を募集しています。

また、上映会やシネマワークショップにお得に参加できる「Pupa Cine Club」会員を募集しています。

ご興味のある方は



後援

仙台市 / 仙台市教育委員会 / 仙台市市民文化事業団 / 河北新報社 / TBC東北放送 /  
KHB東日本放送 / 仙台放送 / ミヤギテレビ

お問合せ

トランシネマ

✉ [trancinema@gmail.com](mailto:trancinema@gmail.com)

f <https://www.facebook.com/trancinema>

🌐 <http://trancinema.link/>